

【質問票】

- (1) 国際目標である「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向けて、SDGs 未来都市の制度活用など、民間とのパートナーシップで積極的な取り組みを新市政ですすめられますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細:「SDGs 未来都市」など、国の制度を積極的に活用するとともに、新技術や地域の伝統技術・文化の活用など民間とのパートナーシップのもと SDGsの達成を目指す。

- (2) 地域の様々な課題解決には民間との協働が重要です。そのためには協働のルール作りや部署を超えた連携が重要です。条例、指針、ガイドラインなど協働の仕組みづくりに取り組まれますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細:今年度からすでに、SDGs推進室を設けているが、今後 SDGs推進本部を立ち上げ、市役所内外の横断的な取り組みとなるよう制度設計などさまざまな準備を進める。

- (3) 総務省が推進する概ね小学校区を単位とした小規模多機能自治ともいわれる地域自治の仕組みづくりの推進や、地域運営組織の設立・事業支援などを積極的に新市政ですすめられますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細:すでに地域自治組織の設立を支援し小規模多機能自治を推進しているが、今後さらに地域による地域自治に対する理解が深まり、積極的に取り組んでいただけるよう支援する。

- (4) 平成 30 年 7 月豪雨災害を契機に設立された民官連携の全県的な仕組み「災害支援ネットワークおかやま」との連携など、災害時の民間との連携について積極的に新市政ですすめられますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細:現在防災リーダーの育成、民間とのさまざまな協定の締結による連携に取り組んでいるが、今後「災害支援ネットワークおかやま」との連携を含め、防災リーダーを組織化し機能的、継続的に活動できるよう支援していく。

- (5) 域内の小中学だけでなく、高校・大学も含めた地域学の推進や地域コーディネーターの配置など、地域人材を育て、若者の定着や還流を目指す取り組みを新市政ですすめられますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細:現在邑久高等学校において、地域学「セトリー」の実施を支援しているが、今後も邑久高校がコミュニティスクールとして取り組む事業に対して積極的に関わっていく。地域コーディネーターの配置については、学校からの要請に基づき検討していく。また、市内の小中学校に対する地域学も体系化し、学習効果が上がるようふるさと教育を推進する。

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。